

はなみずき

川崎市立南菅中学校
学校だより
2024年7月19日発行
第4号

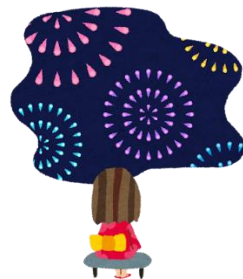
取り組み、振り返り、成長

校長 野島 隆行

1年間の学校生活の3分の1が過ぎました。振り返ると各学年とも日々の授業を進めながら、学校行事や学年行事、その他様々な諸活動に数多く取り組んできた4ヶ月でした。中学生の時期は心身ともに成長著しい時ですから、たった4ヶ月でも多くの活動に取り組んだ生徒達にはたくさんの変化があることと思います。自分の中で変わったこと、変わっていないことを節目のこの時期に見直し、これからの自分のあり方ややるべきことを考えてほしいと思います。19日の朝会では学習面はどうだっただろう？人間関係、人との接し方、思いやりある行動などは？体力や健康については？物事に取り組む意識や態度は？など入学式や始業式で生徒に話した学校教育目標の「知徳体意の調和のとれた人間性豊かな生徒」にあてはめて前期前半を振り返り、後半の学校生活の充実、そして自分自身の成長のため改善点などを確認しようと話しました。

前期前半の学校の様子については7月11日に、学校運営協議会（地域住民等が学校の運営に参画し、「地域とともにある学校づくり」を進めるための会議。本校では昨年度から設置し、PTA現・元会長、民生・児童委員、子ども文化センター館長、地域住民等の方々に委員を務めていただいています。）を開き、生徒会役員や各学年委員長にも参加してもらい、これまでの学校生活についての話を聞きました。学習面では授業を楽しく受けていること、教科によっては質問しやすい教科やしにくい教科があること、提出物などの作成は学習以外のものもあるので、計画的にやらなければ大変であることなどが話されました。行事等では、3年生の修学旅行で川崎と京都のバスの乗り方の違いを知った驚きや困った時に周りの人を頼ることも大切と思ったこと、2年生は東京校外学習などの行事や部活動を通して2年生としての自覚が出てきたこと、1年生は黒川野外活動で役割を自覚して行動できたことや楽しい思い出ができたこと、また給食準備が遅いことを課題として学級委員会で改善策をたて、実行していることなどが話されました。生徒会役員からは生徒会テーマ「南中3C～change challenge create～」の説明を通して、今までのものを自分たちで新しくしていきたい、自分から挑戦していくことを体験したい、学校は生徒が作っていくものなので、もっと積極的にチャレンジする機会を増やしていく、という力強い話が聞けました。生徒たちの話からもこの数ヶ月でいろいろな取り組みをし、課題を見付けたり、改善に取り組んだり、成長を実感したりしていることがわかりました。委員の方からは学校に良い雰囲気ができている。生徒自身が活動内容を決められることがよい、という評価や今回特別に参加していただいた教育委員会の方からも、やりたいことはぜひチャレンジしてほしいという生徒への激励をいただきました。

長い夏休みが始まります。日頃の学校生活とは違った体験もしながら、それらも生かし、夏休み明けからの学校生活を充実させ、生徒がさらに成長していくことを期待しています。



1 学年、黒川校外学習へ行ってきました。

6月26日（水）、黒川青少年野外活動センターにて、1学年の校外学習が実施されました。読売ランド前駅から班別行動でセンターへ到着。午前中はドラム缶ピザづくりを行いました。生地をこねる、火をおこす、野菜を切るなど、それぞれが役割をしっかりと果たし、どの班もとっても美味しいピザを作っていました。午後はアドベンチャーツアーを行いました。仲間と協力して課題に挑戦する姿、元気に活動する姿は微笑ましいものでした。たくさんの笑顔が見られ、クラスや学年の絆が深まった校外学習でした。これからも成長していきましょう！



みんなで協力していろいろなことを学んだ1日になりました！

2 学年、東京校外学習で学んできました。

6月26日（水）、2年生は東京方面へ校外学習に行きました。事前学習では、学習テーマに基づいた調べ学習を行い、当日は調べたことをもとに、見学地でさらに学びを深めました。どの班も、首都として150年の歴史を誇る東京の魅力を存分に感じる事ができたと思います。班別行動の計画をしっかりと立てて実践できたことは、来年度の修学旅行へ向けた良い自信になったと思います。



東京を楽しみました！